

ゆうやくんしまにいく

みつけた! はじめてであうさかなたち

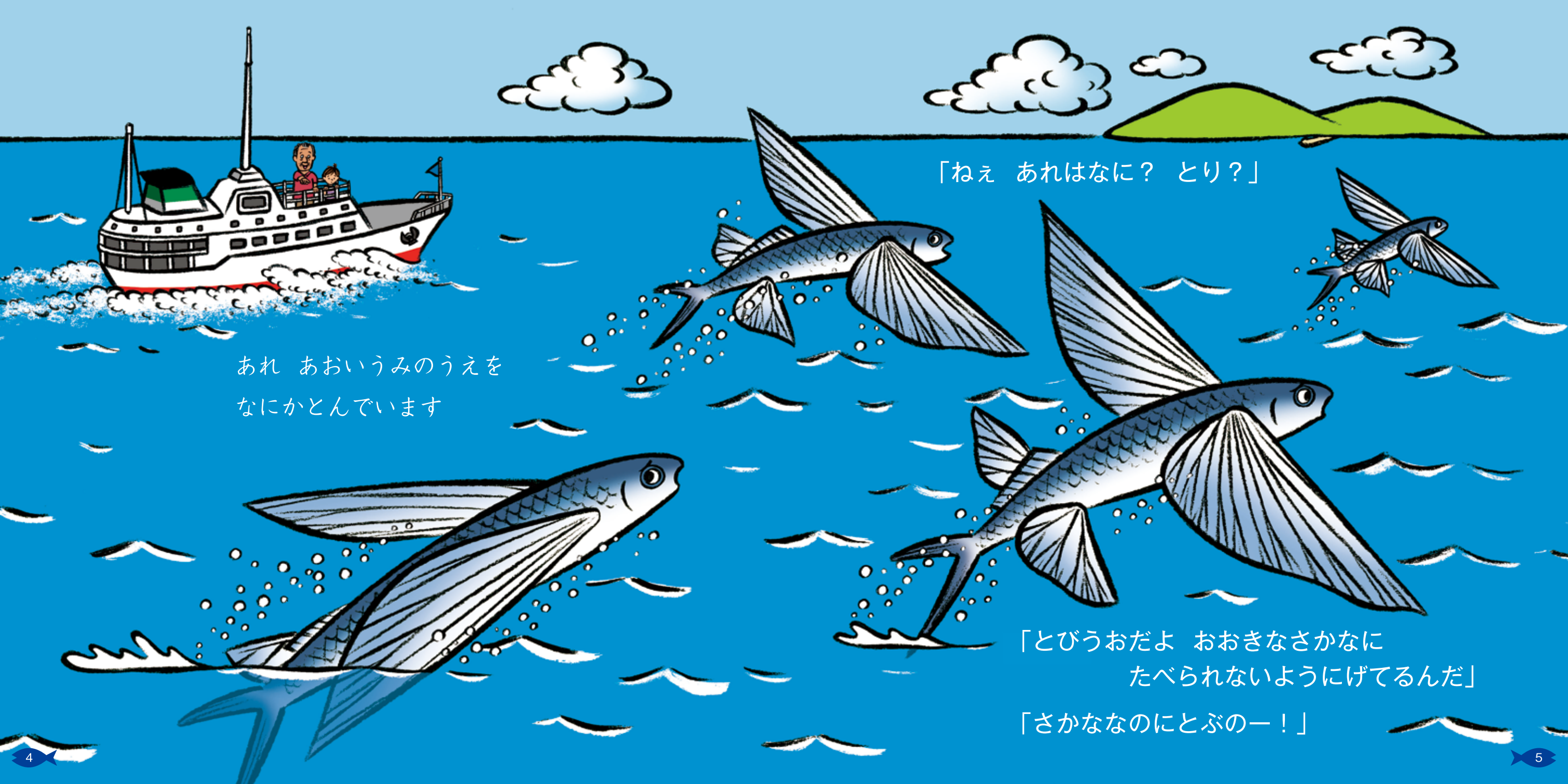




ボ

ゆうやくんのおじいさんはりょうしです
これからおじいさんのしまへ
しゅっぱつです

「わっ！ ぼーっていったよ」
「おじいさんのしまはここより
そらもうみもひろいぞ」



「ねえ あれはなに？ とり？」

あれ あおいうみのうえを
なにかとんでいます

「とびうおだよ おおきなさかなに
たべられないようにげてるんだ」

「さかななのにとぶのー！」

しまにつくと いとこのけんたくんが まっていました


「しまって そらもうみもおっきいなあ」

「いいとこ つれてってやるよ」

「えっどこに？」

「おれのひみつのばしょさ」





「しずかだね なみのおとが よくきこえる」
「ここが ひみつのばしょ？」
「そう このあたり みつけてごらん」

「わあ これみんなさかな？」

「あのしましまはオヤビッチャ
きいろいのがチョウチョウオだよ」

「いろんなかたちをしてるね」



つぎのあさ おじいさんたちが さかなをとって
みなにもどってきました



「これぜんぶ たべられるの？」

「そうだ しかもそれぞれ おいしさがちがうんだ」

「ゆうやもいくつか たべてみるか？」

「うん たべてみたい」





たのしく みんなで食べる バーベキューのはじまりです

「さかなを こうすると
まるごと たべられる」

「すごい！ ぼくもやりましたーい」

「このやいたさかな おいしい！」
「なんでこんなに おいしいのかな？」
「とれたてだし けんたとゆうやが
てつだってくれたからさ」
「それにみんなが そろって
たべるから もっとうまい」





うちにかえって おとうさん おかあさん
いもうとに しまのことを いろいろはなしました

おじいさんの しまのちず



しまのうみでであった さかな

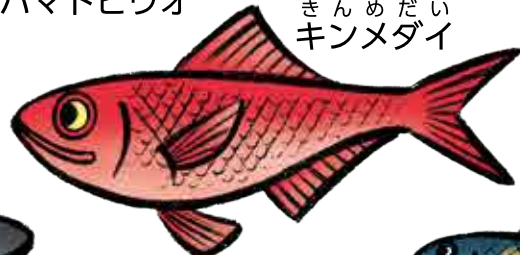


とうきょうの さかなずかん

おじいさんが
とったさかなは
どね?



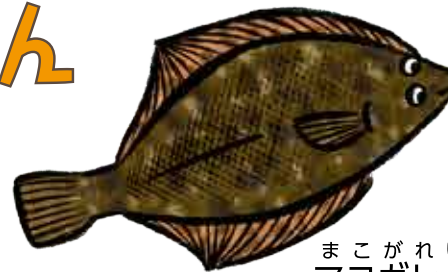
はまとびうお
ハマトビウオ



きんめだい
キンメダイ



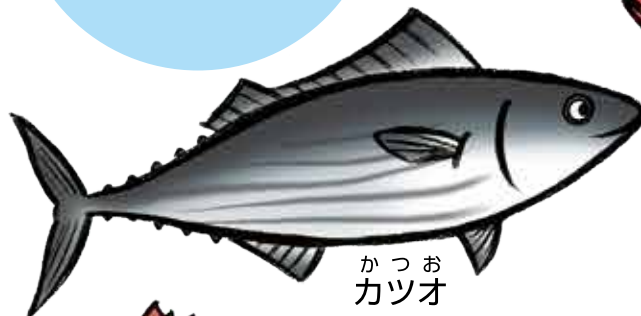
すずき
スズキ



まこがれい
マコガレイ



けんさきいか
ケンサキイカ



かつお
カツオ



たかべ
タカベ



ごまさば
ゴマサバ



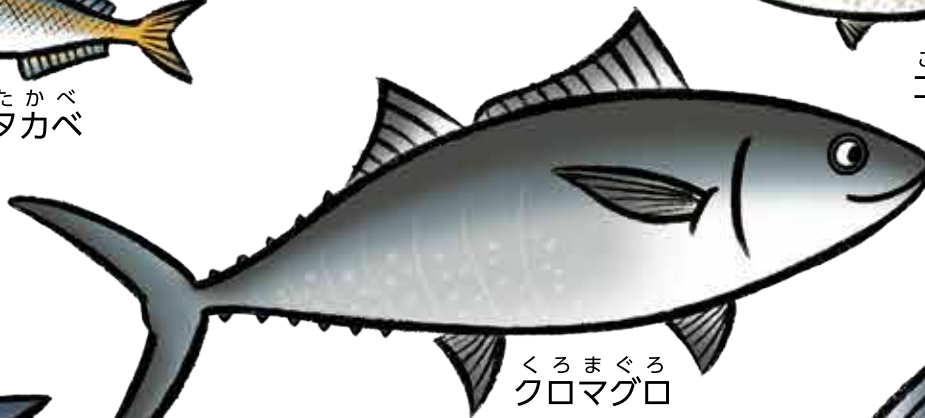
いさき
イサキ



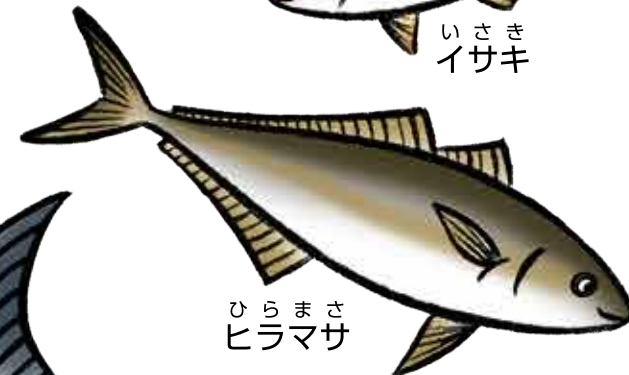
まだい
マダイ



まあじ
マアジ



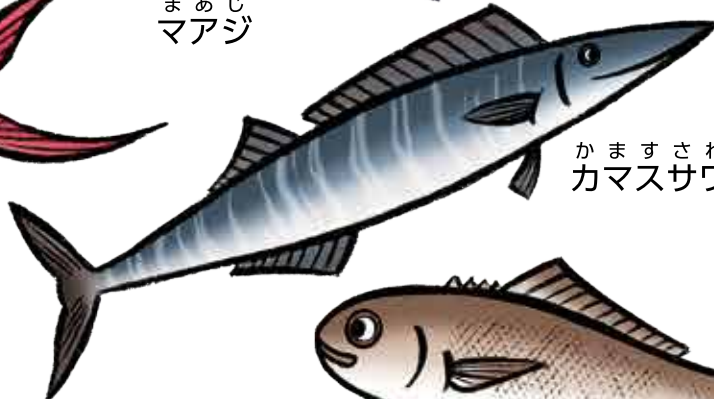
くろまぐろ
クロマグロ



ひらまさ
ヒラマサ



はまだい
ハマダイ



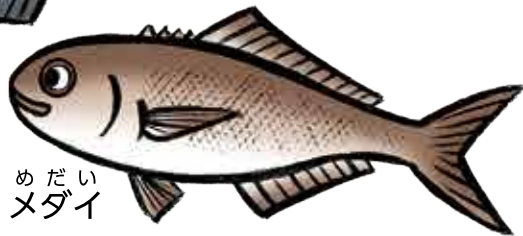
かますさわら
カマスサワラ



めかじき
メカジキ



まあなご
マアナゴ



めだい
メダイ

あなたが
あいたいさかなは
どね?

家族や保育所・幼稚園等の関係者の方々へ

子どもたちに魚のことを知ってほしい、おもしろいと感じてほしい、仲良くしたいと思い、おいしく食べてほしい、そうした気持ちや行動を大人たちと共有してほしい等を願って、本書は作られました。「魚と人間と地域・環境との関わり(循環)」について、東京で暮らす子どもたちと東京にある島の出来事を例にしています。コンセプトや内容については制作委員会(委員長 足立己幸)で検討を重ねました。小学生用“さかなってすごい”、中学生用“魚と私たちと環境のかかわり”と共に活用していただければ幸いです。

平成 27 年 3 月発行 第 2 刷

編集・発行／東京都産業労働局農林水産部水産課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 TEL 03-5320-4848 FAX 03-5388-1466

制作／株式会社 放送映画製作所 画／オームラトモコ 印刷／川口印刷工業 株式会社

制作委員／青木雄二、足立己幸、菊地 幹、駒 治徳、酒井治子、鈴木晶子 (五十音順)

平成 26 年度
登録番号 (26) 281